

ダイバーシティ推進センター令和3年度活動報告

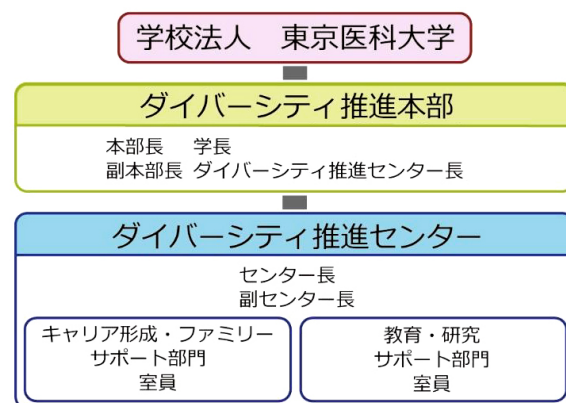
ダイバーシティ推進センターは、平成31年4月1日より活動を開始しました。これまで、本学のダイバーシティに関する活動は、「医師・医学生支援センター」（平成22年4月発足）や「医師・学生・研究者支援センター」

（平成25年11月改組）で行われてきましたが、ダイバーシティ推進センターはこれらの活動を継承しつつ、全教職員を対象として、ダイバーシティ推進に努めております。

【組織体制】

組織としては、法人のダイバーシティ推進本部直下に位置付けられ、ダイバーシティ推進の実行部隊として活動しており、10月より細胞生理学分野の横山詩子主任教授が新たにセンター長になり新体制に移行しました。新体制ではこれまでの活動基盤をもとに、性別や業種を含めたあらゆる属性を問わない全学的な活動を目指し、業種横断的な2部門体制としました。キャリア形成・ファミリーサポート部門では、育児を想定したライフイベント支援に加えて、増加している介護に関するサポートも柔軟に対応していきます。教育・研究サポート部門では、研究活動やLGBTQ・SOGIに関する悩みなどについての相談窓口

の設置、新たな研究補助者配置制度、学生時代からキャリア形成や多様性を意識できる教育の機会を提供します。



体制図

【活動報告】

活動報告としましては、従来の就業継続等に関する相談対応36件（前年度45件）、研究支援としてライフイベント中の補助者配置10件（前年度9件）、育児支援としてファミリーサポート733件（前年度507件）や学生支援として医療プロフェッショナリズム講義を継続して実施しています。

加えて、大きな活動報告としては、まず、例年開催している「医師を目指す中高生と保護者のための講演会」を8月26日に昨年に続きオンラインで開催し、198名の参加がありました。今回は藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科の加藤庸子教授と本学哲学教室の西 研教授に

ご登壇いただき、学生時代の経験やそれぞれの分野に興味を持ったきっかけなどこれから医師を目指す中高生にとって大変貴重な講演となりました。



医師を目指す中高生と保護者のための講演会

次に、「イクメンプロジェクト」を始動しました。本学では誰もが働きやすい職場環境の整備に繋げるべく「男性育休」の取得を推進しています。全キャンパスに啓発ポスターを掲示し、取得者と所属長にアンケートを依頼し、その結果を基にかわら版を発行しました。令和4年度から育児・介護休業法が改正され、男性育休が取得しやすい職場作りがますます重要となりますので引き続き取り組んでいきます。

最後に、ホームページの見直しを行いました。新体制への移行に伴いセンター紹介として新センター長のメッセージ、ミッション、体制や室員リストを追加・更新しました。相談窓口・お問合せフォームも一新して希望する場合はオンラインによる遠隔相談も対応可能となりました。

今後も皆様の働き方やキャリアの充実を支援できるよう、学内をつなぐ存在として活動して参ります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



イクメン啓発ポスター

ダイバーシティ推進センターホームページ
(<https://www.tokyo-med-diversity.jp/>)



(ダイバーシティ推進センター 係長 鈴木進哉)